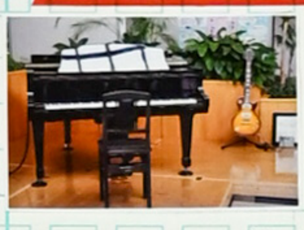
体験新聞

日朗
23年
日本航空
行江柳橋田
25 10
発大澤高森
20

クリンセンタに行って来た！

クリンセンターの中に入ったら、ピアノとエレキギターがありました。



ピアノは、相大ごみとして捨てられた物を、修理をして自動で演奏できるようになっていました。私達が行ったときは、ベートーヴェンの曲が自動で演奏されてました。ピアノもエレキギターも全部捨てられた物で作られた物ってすごいなと思いました。捨てられたゴミでも生まれ変わっていろいろな物に生まれ変わることがわかりました。

焼却炉では、900℃でゴミを燃やしてゴミを綺麗に燃やして灰にさせます。ゴミが動くのは床が動くからです。

（澤柳）

ピアノが勝手に動く!?

分別をちゃんとしない!!

ゴミの分別をちゃんとやらないと爆発していろいろなきちょうな部品がこわれてしまいます。スプレー缶が爆発して収集車にのってる人がケガをすることがあるそうです。

それで私は、分別をちゃんとしないとためだと分かりました。

多くの人がケガをしちゃうからです。分別をちゃんとしないと爆発がおこるのかかったのでゴミの分別をがんばります。多くの人がケガをしないように私は、分別をちゃんとしようと思います。

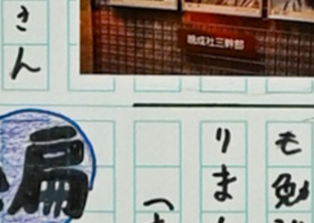
ゴミをクリリンセンターにはこぶ人がケガをしたら大変だからです。

私は、ゴミの分別はちゃんとからないと事故がおこるので気をつけます。

（森田）

稲田浄水場

稲田浄水場では、札内川の下にある原水という水を浄水しているそうです。まず原水は取水口に到着し埋められた穴の空いた管で水を取るそうです。そして原水は薬品混和池に到着します。原水は人が飲める水よりも少し酸性なので、苛性ソーダを入れて調節しているそうです。凝集剤という薬を入れてにごりを取ったりするそうです。そしてフロック整形地へいくとプロペラを速く回してあとに遅く回すそうです。そうすると薬とまざって、フロックになって床にたまります。そして沈殿池に到着してフロックにならなかった小さなゴミをクリリンセンターにはこぶ人がケガをしたら大変だからです。



濁りの塊を取り除くそうです。そして原水は急速ろ過池につきます。そこでは砂利とりに通して水を綺麗にするそうです。安全な水にするために塩素を入れて消毒をするそうです。

ぼくは、ヤマメが見張り番をして川がよごれると、ヤマメが反応するのがびっくりしました。（大江）

魚は水の見はり番!!

最初の見学先です。稲田浄水場では、札内川の下にある原水という水を浄水しているそうです。まず原水は取水口に到着し埋められた穴の空いた管で水を取るそうです。そして原水は薬品混和池に到着します。原水は人が飲める水よりも少し酸性なので、苛性ソーダを入れて調節しているそうです。凝集剤という薬を入れてにごりを取ったりするそうです。そしてフロック整形地へいくとプロペラを速く回してあとに遅く回すそうです。そうすると薬とまざって、フロックになって床にたまります。そして沈殿池に到着してフロックにならなかった小さなゴミをクリリンセンターにはこぶ人がケガをしたら大変だからです。

濁りの塊を取り除くそうです。そして原水は急速ろ過池につきます。そこでは砂利とりに通して水を綺麗にするそうです。安全な水にするために塩素を入れて消毒をするそうです。

ぼくは、ヤマメが見張り番をして川がよごれると、ヤマメが反応するのがびっくりしました。（大江）

ただいま交流中！

昼食は、百年記念館の会議室で、大正小学校の四年生と弁当を食べました。僕は、女子一人と、男子一人と、男子四人と、夕夏と、航太朗は、食べました。

とるなは、女子と一緒に食べていました。交流できてよかったです。（高橋）

百年記年館

私たちは百年記念館に行ってきました。十勝の開拓の歴史のことをたくさん教えてもらいました。百年記念館の係の人の話では、昔十勝を開拓している時代にバッタがへんでした。（大江）

の大群が来たそうです。そして、畑や田園の作物に大きな被害を与えました。私はその話を聞いてバッタがそんなにいるんだなと思いました。私もバッタの大群を見てみたいと思いました。次は、かいこんプラウについてです。かいこんプラウは、たいらじゃなくて大きい木があってそのね、こをとるのをかいこんという意味が分かりました。雨の日が続き畑のさくもつが育ったり、育たなかったりのなみがつづいたそうです。百年記念館の名前の由来は、晩成社が十勝を開拓しての百年だからです。とても勉強になりました。

（森田）

編集後記

見出しの文字を書いて、ぬるのが大へんでした。（大江）

クリリンセンターのことが、よくわかりました。（澤柳）

たいま交流中の周りを書くのに苦労しました。（高橋）

クリリンセンターの見出しが上手にできました。（森田）